

インターネットや SNS によるトラブルの現状と対応 ～子ども社会の実態を理解し防止対策に活かす～

○本日の投影資料に関するお知らせ

資料は後日、PDF データで共有をさせていただきます。

資料のダウンロード方法に関しては、本資料最終ページに記載させていただきます。

○研修目標

・ネットトラブルの背景を理解し、防止対策及びトラブル時対応に活かせるようになる。

○研修ポイント

(1)最大のリスクは知らないこと 危険性に関する無知リスクが大きい。知らずに使う、使わせることで、思わぬトラブルに巻き込まれたり、引き起こしたりしてしまう。

(2)すべての問題は人に帰する 道具は手段、使う人の意識・倫理観・リテラシーに問題がある。LINE で問題が発生すると LINE の利用を禁止したり、規制したりしようとするが、対処法としては誤りである。すべての問題は人の道具の使い方に起因しており、使う人次第という点を理解した上で、防止策や指導をしなければ問題の根本解決はない。

(3)常識は非常識 変化の激しい社会環境、大人と子どもの常識の違いを理解する。「自分が学生の時は」という常識は通用しない。実効性のあるネットトラブル対策とするためには、自分の学生時代の常識を捨て、今の子ども達（子ども社会）の常識と利用実態を理解し、実態に即した対策をすることが大切である。「大人の常識、子どもにとっては非常識」を常に意識する。

(4)敷居は低いが高リスクは高い ネット空間は実社会よりもトラブル・犯罪リスクが高い。ネット空間では、容易に犯罪レベルの行為を犯してしまう不思議な力が働く。

(5)答えは一つではない 人の数だけ答えがある。知識学習と異なり、確実なマニュアルや絶対的な答えは存在しない。

○資料目次

1. ネット社会の現状
 2. ネットいじめ/いじめの理解
 3. ネットいじめ/サイバートラブル対応
 4. 児童生徒との信頼関係づくり（リレーション構築のポイント）
- 参考 1：子どもがいじめを苦に自殺する前の兆候
参考 2：モンスターペアレントの分類
参考 3：携帯・スマホを持たせる際の保護者（大人）の役割
参考 4：主な相談窓口連絡先
参考 5：いじめチェックシート（子どもの様子チェックシート）①
参考 6：いじめチェックシート（子どもの様子チェックシート）②
参考 7：いじめチェックシート（子どもの様子チェックシート）③
参考 8：学校において生じる可能性がある犯罪行為等について